

西区会

「西区会だより」が
10月に50号を迎える！
西区会会長（生 11） 茅中英一

会員間のコミュニケーションを図るために、平成16年（2004年）9月に創刊された「グループわ西区会だより」は平成20年10月に50号を迎えました。

松岡泰彦さん（6期会長）が立ち上げ、歴代の会長や幹事が連携し、会員の支援も得て、毎月の発行を積み重ねた結果今回に到ることができました。

現在の内容は、A4版1枚に、会員のボランティア活動の結果や今後の活動予定、トピックスや“わ”本部からの重要事項の伝達等です。毎月の幹事会で原案を検討、承認し、各担当幹事からメール、FAX、郵送や配達等によって全会員へ配布しております。

今年度の「西区会だより」では、重点施策の「4ブロック制」について、その目的の周知徹底、各ブロックの活動結果や今後の活動予定を限られた紙面の中ですが優先的に伝えるようにしています。

そして、「西区会だより」を1号から50号までをファイルにまとめました。西区会活動の歴史は、今後の諸活動推進の参考になるのではと考え、これを引き継いでいきます。

さて、「4ブロック制」の推進状況は、第1段階の各ブロックの顔合わせの懇親会（昼食会）が終わりました。第1ブロックは7月30日、第2ブロックは7月2日、第3ブロックは7月28日、第4ブロックは9月9日でした。これまで近くに住みながら相互に顔が見えにくかったコミュニケーションの壁に少し風穴が開きつつあるのではないのでしょうか。

第2段階として、第1ブロックは8月30日の「第5回押部谷・明石川まつり」当日、「まつり」前の「明石川クリーン作戦」にボランティア参



加、第2ブロックは、10月16日（木）神地区の公園めぐり、第3ブロックは10月12日（日）「第6回竹の台ふれあいまつり」に参加、第4ブロックは10月25日（土）「伊川流域ウォーク」に参加しました。

このように色々な「集い」を積み重ねて、会員同志や地域の方々との「支え合い」の輪が少しでも広がることを願い、その基盤づくりに関係者と協力し微力を尽くしております。皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

季節の草花

ミゾソバ

生8 - 文 久保 知彦

ミゾソバは、日本全国の小川や沼沢地、湖岸などに生育するタデ科の一年生の植物です。

水田地帯の用水路などに群生するので邪魔者あつかいされることもあります。

葉がソバに似ているので、この名前があります。しかしソバの花が白いのに比べて花の先端は薄い紅色なので違いがわかります。花弁に見えるところは「がく」で、花弁はありません。

葉の先を下にして見て、両脇にある突起を「つ野」と見ると、牛の顔に見えることから「ウシノヒタイ」という別名があるそうです。

ところで、植物や動物の名前の付け方には色々ありますが、中にはちょっとひどいものも多々あります。

ミゾソバ同じ仲間「ママコノシリヌグイ」という植物があります。葉はミゾソバに比べて三角で茎や葉にとげが一面に生えています。

植物の葉を便所の落とし紙に使うことは昔からありますが、この葉を使ったらどんなことになるでしょう。

